

★七たなばた夕ささの笹かざりをつくろう★

ワークシートをプリントして、色をぬったり、ねがいごとをかいたり、好きなかざりをつくろう！たてもの園に持ってきてくれたら（期間：2023年（令和5）7月4日～9日）、園内の笹にかざれます！

★七たなばた夕ささの笹かざりってどんなもの？★




七たなばた夕ささは奈良時代に宮中で始まった「乞巧きこう奠でん」という行事から広がったもの

ので、旧暦の7月（現在の8月）に行われます。家の前に立てた笹に様々な

かざりをつける「笹かざり」は、江戸時代に庶民の間で流行りました。

現在の笹かざりには色紙でつくった縁起物や願い事を書いた短冊たんざくを吊る

しますが、昔は梶かじの葉はを用いて葉の表に詩や歌を書いて吊るしていました。

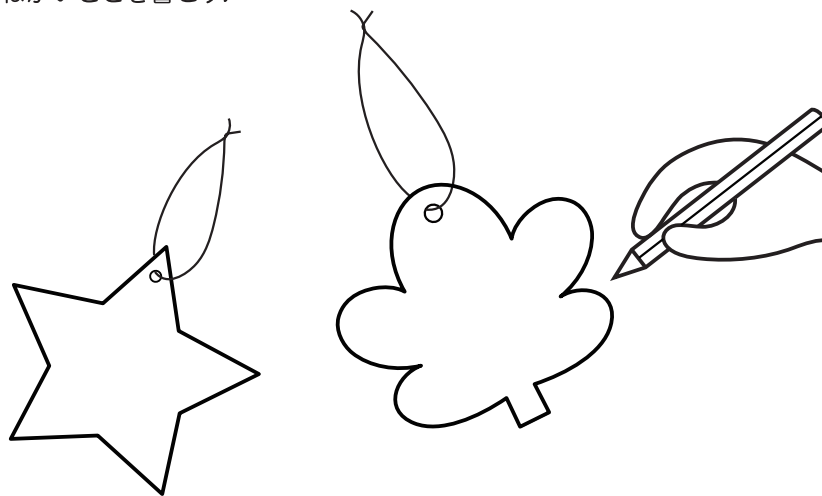
- A 梶かじの葉は  梶かじの葉はは表面がザラザラしているため、墨すみがのって文字が書けるので、短冊たんざくとして用いられました。
- B ひょうたん  昔むかしから厄除やくよけ・縁起物えんぎものとして親したしまれている植物しょくぶつです。中なかが空洞くうどうなので水筒すいどうやお酒さけの容器ようきとしても用いられました。
- C ほし  ねがいごとねがごとが空そらまで届とどいてほしが願いねがいを叶かなえてくれますようにという意味いみがあります。

よういするもの

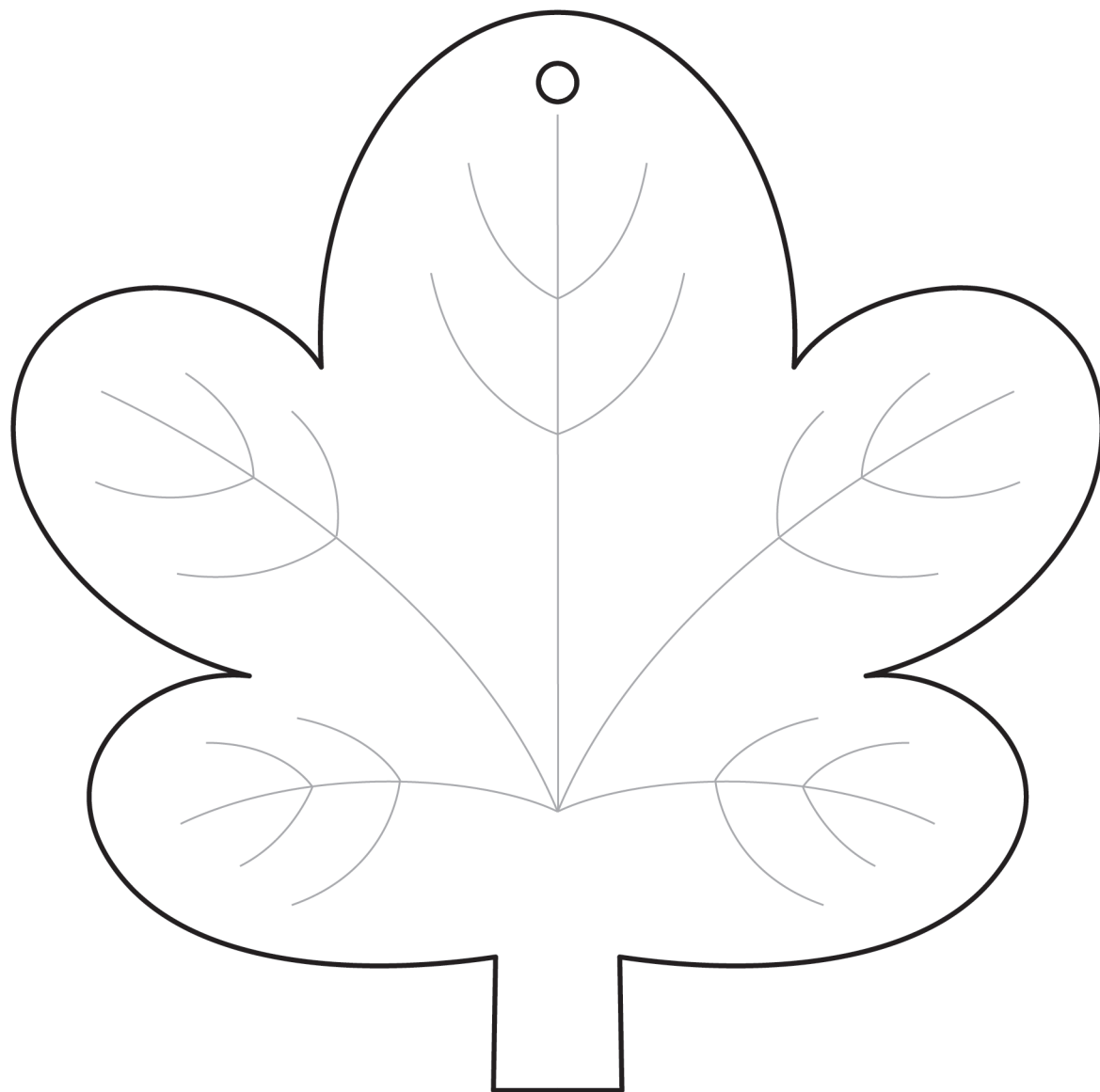
- A4サイズの紙かみ（白しろまたは色紙いろがみ）
- 色えんぴつやマーカーなど、好きな画材がざい
- はさみ
- パンチや千枚通しなど（紙かみにあなをあけるもの）
- ひも（40cmくらいのほそいひも）

☆つくりかた☆

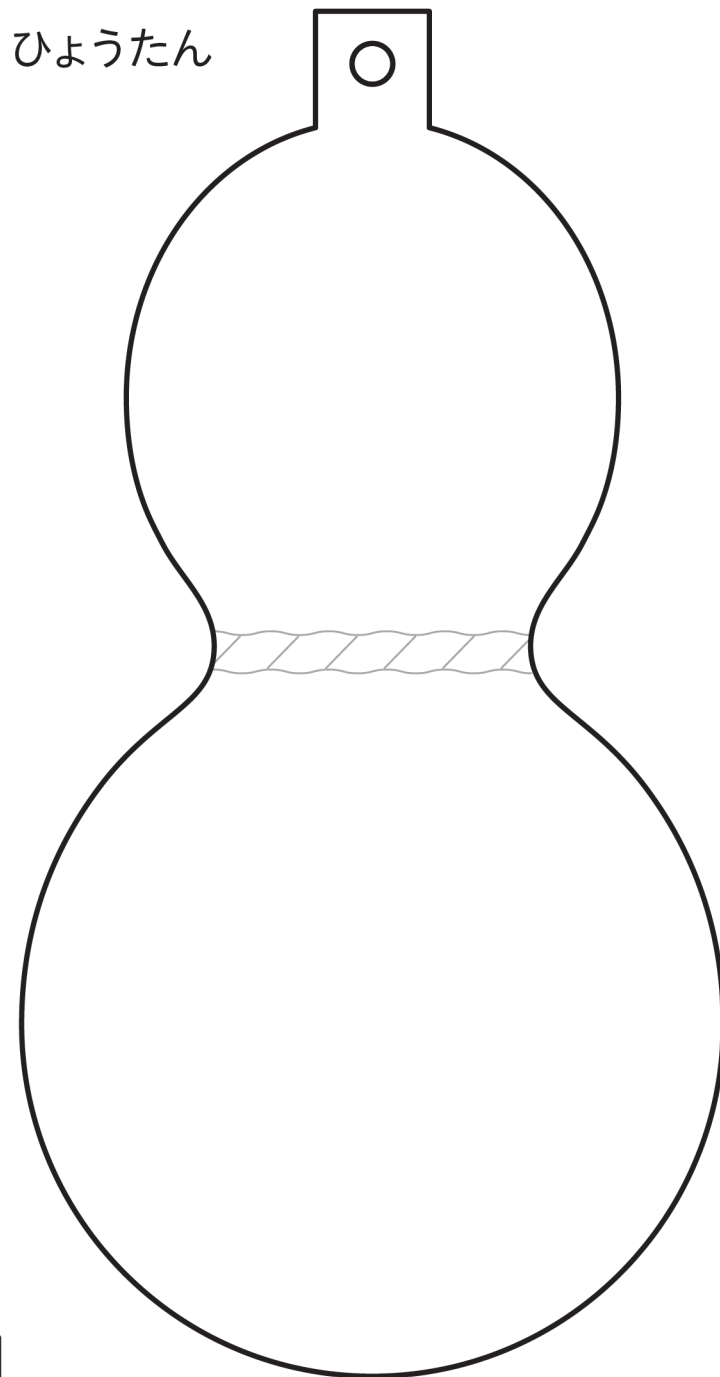
- ①ワークシートをA4サイズの紙かみにプリントして、色をぬる（または色紙いろがみにプリントする）。
- ②そとがわのキリトリ線せんを切る。
- ③あなをあけて（パンチや千枚通しなど）、あなにひもを通す。
- ④ねがいごとを書こう！



A ^{かじ} ^は 梶の葉

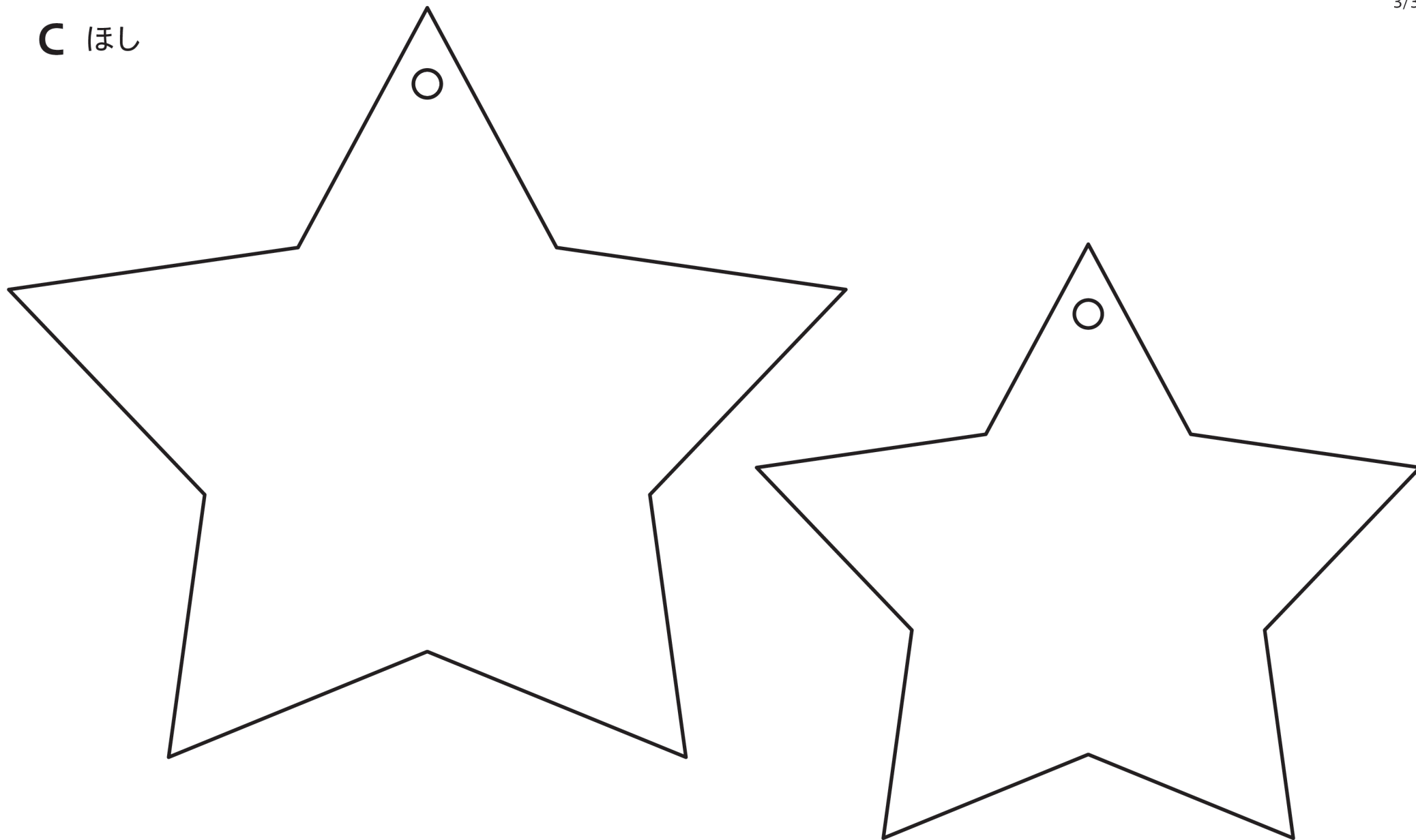


B ひょうたん



キリトリ線 ^{せん} 

C ほし



キリトリ線 